

令和 6 年能登半島地震のスポーツ関連の被害状況と支援について

1. スポーツ施設の被害状況について

○社会体育施設

	発災約 10 日後の状況 (1 月 12 日 12 時時点)	発災 2 か月後の状況 (2 月 29 日 12 時時点)
休館	29 施設 (新潟県 10 施設、富山県 5 施設、 石川県 14 施設)	25 施設 (新潟県 9 施設、富山県 2 施設、 石川県 14 施設)
避難所利用	3 施設 (富山県 1 施設、石川県 2 施設)	1 施設 (石川県 1 施設)
物的被害	168 施設 (新潟県 53 施設、富山県 61 施 設、石川県 50 施設、他 4 施設)	316 施設 (新潟県 71 施設、富山県 61 施 設、石川県 180 施設、他 4 施設)

○学校施設

	発災約 10 日後の状況 (1 月 12 日 12 時時点)	発災 2 か月後の状況 (2 月 29 日 12 時時点)
休校	80 校 (石川県 80 校)	0 校
避難所利用	48 校 (石川県 48 校)	40 校 (石川県 40 校)
物的被害	834 校 (新潟県 278 校、富山県 271 校、 石川県 267 校、他 18 校)	1,021 校 (新潟県 366 校、富山県 287 校、 石川県 337 校、他 31 校)

※文部科学省「令和 6 年能登半島地震 これまでの被害と対応状況」より

([令和 6 年能登半島地震 これまでの被害と対応状況：文部科学省 \(mext.go.jp\)](https://www.mext.go.jp/))

※避難所の開設が進んだ発災約 10 日後と現在（発災 2 か月後）の状況を比較

2. 学校・地域におけるスポーツ活動の再開状況について

・学校は被った物的被害や避難所利用の状況に応じて、できる範囲で体育の授業や部活動などのスポーツ活動を行っている。

体育の授業については、体育館やグラウンドが使用できない場合、代わりに空き教室等で実施している事例や、生徒や指導者をオンラインでつないで実施している事例がある。

部活動については、学校施設の被害が大きい場合、近隣又は当該自治体以外の活動場所に移動して活動を行っている。

・石川県輪島市、珠洲市、能登町では中学生の一部で集団避難が行われ、県立白山青年の家等の集団避難先では、生徒それぞれが施設内の体育館等を活用しながら体を動かしている。

・石川県は令和6年度全国中学校体育大会の開催地の一つとなっているが、複数の競技会場で施設被害があることから、今夏の開催に向け、公益財団法人日本中学校体育連盟、全国中学校体育大会石川県実行委員会、開催市町等とで協議を進めている。

・今後、施設の復旧状況等をみながら、被災地とも連携して、スポーツ庁として必要な支援を行っていく。

3. 被災者の健康保持に係る運動・スポーツの観点からの支援について

・避難生活に伴い、運動不足等による被災者の健康被害や、ストレス増加等による被災者の精神面への影響等が懸念されることから、厚生労働省等の関係省庁や関係機関とも連携の上、被災者の心身の健康保持に運動・スポーツの観点から支援を実施。

・被災者や、その支援を行う地方公共団体、スポーツ関係団体、民間企業等が活用できるよう、子供向けの運動遊びや、運動不足解消・健康被害予防等のための情報をスポーツ庁HPに周知し、SNSで発信。

URL：[令和6年能登半島地震 被災者の皆様へ：スポーツ庁 \(mext.go.jp\)](https://www.mext.go.jp) (※2月29日公開)

具体的な掲載内容は参考1-2参照。